

### 目次

退職者・転出者ご挨拶	1
甲府は史上最多降雪記録	2
チームてんじん活動報告 2013 冬～ 2014 春	2
看護部より「新採用者オリエンテーションが終了しました」患者数	3
アラカルト「新MR」導入	4
平成 25 年度 障害者虐待防止研修会を開催して 相談支援事業所を開所します	5
「平成 25 年度 第4回山梨県重症心身障害児（者）関係機関連絡会」を実施して 医療安全管理室 地域医療連携室	6
外来医師担当表	7

発行 行 : 独立行政法人 甲府病院 広報委員会  
 国立病院機構  
 発行責任者 : 長 沼 博 文  
 住 所 : 〒 400-8533 山梨県甲府市天神町 11-35  
 電 話 : 055-253-6131  
 ファックス : 055-251-5597  
 ホームページ : <http://www.hosp.go.jp/~kofu-hospital/>  
 (新しいページへ移転しました)  
 Eメール : [kofu@kofu.hosp.go.jp](mailto:kofu@kofu.hosp.go.jp)



### 「新採用者オリエンテーション」

この4月より、新社会人となりました。これから医療に関わる専門職としてそれぞれが看護師、助産師、理学療法士、薬剤師、栄養士、事務職であることの誇りを持ち、知識と経験を重ねていきたいと思ひます。そして、医療人として専門性を高め、多職種で協働して地域の皆様の健康に関わっていきたく思ひます。  
 (平成 26 年度新採用者 一同)



独立行政法人 国立病院機構 **甲府病院** の理念  
 National Hospital Organization Kofu National Hospital

### 理 念

私たちは、良質な医療の提供を通して、患者さんの健康を支え、地域社会に貢献します

### 基本方針

●丁寧な説明に努めます ●自己研鑽に励みます ●職員同士協力し合います

私たち職員は、理念を実現するため最善を尽くします  
 病院は、職員の働きやすい環境を積極的に提供します

# 退職者・転出者ご挨拶



## 「単身赴任生活」卒業

(前) 看護部長  
館林 芳子

昭和 56 年 8 月に勤務していた埼玉の県立短大を退職し、夫と息子の 3 人で実家のある佐渡に U ターン。再就職した国立佐渡療養所から国家公務員生活がスタートしました。

初めての単身赴任は看護部長昇任時でした。新潟の病院に 4 年 7 か月間勤務後地元へ異動、その後施設移譲に伴い新潟、埼玉、東京、山梨と異動しました。最後の 3 年間は甲府病院で勤務させて頂き皆様方には、ご支援とご協力を頂きありがとうございました。

在職中に重心病棟施設基準 7 対 1 取得と 2 交代制の導入が出来たことは病院職員の支援があったことでした。また、山梨県 W L B 地域推進委員、認定看護管理者教育委員等の活動を通し、山梨県の医療機関ネットワークの良さと看護教育水準の高さを実感致しました。

最後に、定年まで仕事が継続できた事は家族の協力があったことです。4 月からは夫と 90 才を迎える母との生活が始まります。夫唱婦随を心掛け日常生活を楽しみながら心豊かに過ごせたらと思っています。宿舎の窓から大好きな富士山が眺められ、住みやすい環境で充実した 3 年間でした。甲府病院の益々の発展と皆様のご活躍を期待しております。



## 転出のご挨拶

(前) 薬剤科長  
田島 芳夫

4 月から東京都小平市にある独立行政法人国立精神・神経医療研究センター病院に勤務することになりました。平成 23 年 4 月に甲府病院に赴任して 3 年間薬剤科に勤務いたしました。地域の皆様、病院スタッフの方々には大変お世話になり、またいろいろと助けていただきありがとうございました。

3 年前の新任挨拶で、私が勤め始めた昭和 50 年代と現在の薬剤業務の変化を書かせていただきました。薬剤師の業務内容は時代と共に変わってきています、私が甲府病院にいた 3 年の間にもいくつかの変化がありました。しかし、私たちの基本とするところは、昔も今も変わりません。それは、患者さんに信頼される良質な医療の提供です。新任地でもこのことを忘れずに患者さんに向き合っていきたいと思っております。



## 甲府は観測史上最多降雪記録

管理課長 藤澤 政之

2 月 14 日午後から本格的に降り出した雪は、見る間に膝の高さを超え、夜半には腰の高さをも超え、甲府での積雪量は 114cm に達し、明治 27 年以降観測史上最多降雪量となりました。翌 15、16 日は病院宿舎居住者や近隣に住む職員が雪かきに集まり、救急車の搬入経路や立体駐車場までの除雪をしました。土日で外来診療が無かったことは幸いでしたが、今回の降雪量は人力で対処できる積雪量を超えていました。

17 日の月曜日に除雪用重機が入り、駐車場及び病院内道路の除雪については、大方終わることが出来ましたが、院内の除雪以外にも今回の大雪は様々な問題をあらわにしました。



病院正面バス通り

まず、J R 中央線、身延線、中央高速道、国道 20 号 141 号、52 号が通行止めとなり山梨県は完全な陸の孤島と化してしまっただけで、流通がストップした事により、重症心身障害病棟で使用している濃厚流動食の在庫が底をつきそうになり、県内には同様な物が無いことが判明し肝を冷やしました。

また、幹線道路の除雪が遅れたことにより、出勤困難な職員が多数発生してしまい、遠方から数時間以上歩いて出勤したり、病院等に泊まり込む職員もいました。今回の大雪は特別だったのかもしれませんが、医療機関としての対応対処を今後検討する機会となりました。



玄関ロータリーの除雪

チームてんじん活動報告 2013冬～2014春

「Dr. 坂根による糖尿病療養指導のための自己育成教室」

2月11日に当院の会議室にて、NHO京都医療センター臨床研究センター予防医学研究室長の坂根直樹先生をお招きして研修会を開催しました。



糖尿病治療に関わる総勢42名の医療従事者が院内外から集まり、糖尿病の療養支援について学びました。

糖尿病教室お食事会



2月28日に本年度2回目の糖尿病教室お食事会を開催しました。参加者が殺到し定員を50名から60名に増やす盛況ぶりでした。たくさんの方にご参加して頂きありがとうございました。今後も生活習慣病について楽しく美味しく学べる機会をたくさん企画していきたいと思えます。



NHO甲府病院糖尿病療養指導チーム「てんじん」

文：薬剤科 寺田 芳弘

# 看護部だより

## 「新採用者オリエンテーションが終了しました」

教育担当師長 林 由美子

平成 26 年度新規採用者オリエンテーションが 4 月 1 日から 6 日間行われました。今年度、看護部は、20 名のフレッシュな新人と経験者 7 名を向かえました。新規採用者オリエンテーションは、職場への早期適応と医療の実践者として基本的な能力を習得することを目的としています。内容は、病院の基本理念・概要、組織人、医療人としての心構え、看護倫理、接遇、医療安全、感染対策、重症心身障害児医療、各部署の説明や看護技術などの講義と実技です。

看護倫理では、専門看護師による講義と先輩看護師 2 名による看護に対する考えを発表する時間を設けました。現場で忙しく働く看護師の思いは、新人さんの心に深く残ったようです。その後のグループワークでは、自分が何を大切に看護をしたいか、活発に話をしていました。その気持ちをいつまでも忘れないでほしいと思います。



看護倫理グループワーク

技術演習では、採血、注射、輸液ポンプ、吸引の取り扱いについて、練習しました。手順を確認しながら、実際に患者さんがいる想定で説明し実施しました。

吸引の技術では、はじめに患者さん体験をしてもら



採血の技術

います。自分で鼻に 5 cm ほど管を入れてみるように指示をしました。異物を鼻に入れるのは勇気が必要ですし、くしゃみや涙や鼻水を出しながら、吸引がどれだけ苦しい行為なのか実感したと話していました。



吸引の技術

オリエンテーションを 6 日間担当し、新人さんが、患者さんの立場に立てること、しっかりと自分の考えを持っていることに、頼もしさを感じました。今後どのように成長していくのか楽しみです。

### 平成 25 年度一日平均患者数

#### 入院

※ 3 月分及び年間累計は 3 月末日現在（小数点以下第 2 位は四捨五入）

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
一般	96.4	84.3	92.3	105.6	93.0	103.6	103.9	104.0	107.0	97.4	114.0	115.7	101.4
重心	120.8	117.9	119.0	120.0	120.5	122.2	123.5	124.2	123.8	125.6	125.6	126.0	122.4
計	217.2	202.2	211.3	225.6	213.5	225.8	227.5	228.3	230.8	222.3	239.6	241.6	223.7

#### 外来

※ 3 月分及び年間累計は 3 月末日現在（小数点以下第 2 位は四捨五入）

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	271.6	272.5	278.7	274.1	260.4	288.2	267.9	271.0	291.8	282.8	252.2	290.2	274.8



# アラカルト

## 「新MRI導入」



副診療放射線技師長 田口 浩文

当院ではH 26年3月より、新たに最新型 1.5 テスラのMRI装置を導入しました。この装置は最新の技術が使用されており、患者様にやさしいシステムとなっています。

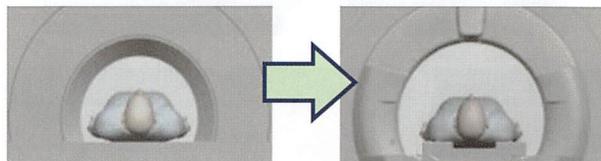
### <主な特徴>

#### 1. 静かさ

真空を利用した Pianissimo 機構により検査中の騒音が低減されました。他の 1.5 テスラの装置と比較し、検査音が 1 / 10 程度まで下げられています。

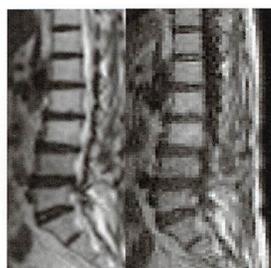
#### 2. 広さ

大口径、コンパクト設計で検査時に入っていただく空間が広くなりました。体が大きな方や少し狭い所が苦手な方も、以前に比べて圧迫感が少なく検査が受けやすくなっています。



#### 3. 検査時間と画質

短時間に多くの信号を得られるため、より早く検査を終えることが出来ます。MRI検査は靭帯や腱、軟部組織などの描出に優れています。新型MRIでは従来よりも細かな病変等を描出することが可能になりました。



腰椎



膝関節



乳腺



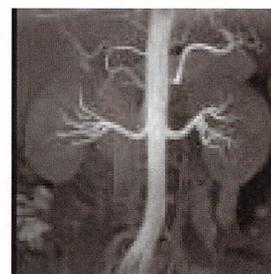
頭部

#### 4. 多種多様な検査の紹介

薬を使用せずに頭部や腹部の血管を描出するMRAの検査や、急性期脳梗塞・出血の診断も、最新の高速撮像によりさらに迅速に行えるようになりました。

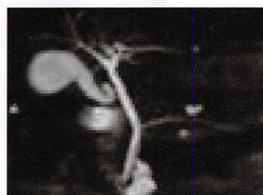


頭部の血管



腹部の血管

胆のうや膵管を描出するMRCP検査、婦人科疾患に有用な骨盤部の検査においてより精度の高い画像を提供できるようになりました。

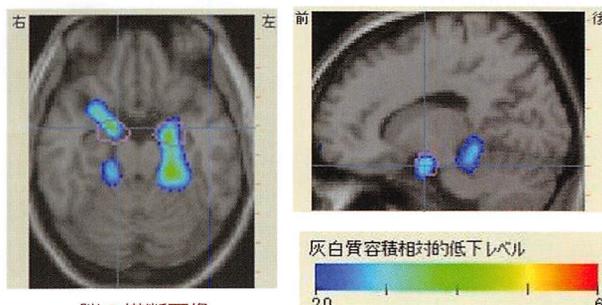


MRCP

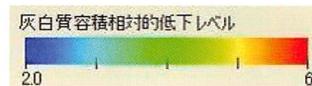


骨盤部

また、今回導入された新MRI装置により、認知症の診断に有効な検査（VSRAD）が可能になりました。核医学検査の脳血流シンチグラフィと併用することで、さらに診断精度があがります。この検査では記憶をつかさどる海馬領域の容積低下（萎縮）などを評価することができます。



脳の横断画像



記憶領域の海馬付近を計測して表示

# 平成 25 年度 障害者虐待防止研修会を開催して

療育指導室長 山田 宗伸

3月7日に当院大会議室において、平成25年度虐待防止研修会を開催しました。本研修会は当院の虐待防止委員会が主催し、全職員を対象に虐待の防止を普及、啓発することを目的に開催しています。今回は講師をお招きし、虐待防止に関する基本的知識と言語心理学の観点からの支援の在り方について学びました。2回目となる今回は、「不適切な対応を見直す」ことをテーマに開催し、勤務終了後にも関わらず79名の職員が参加しました。

さて、研修内容ですが、前半は、ロールプレイ形式で看護師長等が演じたビデオを見て、日々の支援から「不適切な対応」や「その行為に至る背景因子」を抽出し、障害児（者）に対する適切な対応とは何かを考え、意見発表しました。後半は、黒田小児科医師が、虐待防止について、担当病棟での取り組みを含め講義をしました。「見つめること」、「触れること」など「ユマニチュード」（ケア方法のひとつ）の考えを引用され、支援者として患者さんにどのように接していくべ

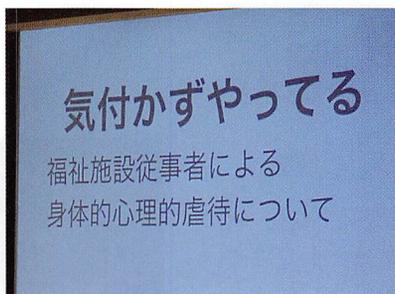
きか、もう一度考える機会になりました。

本研修を通じて、「障害の有無」、「意図的か、非意図的か」ということではなく、患者さんに対して「適切な対応とは何か」を問う姿勢を常に持ち続けていきたいと、あらためて感じました。

本研修会開催にあたり、ご協力いただきました関係職種の皆様にお礼申し上げます。



黒田先生の講義



「虐待」と気が付いていない!?



意見発表では、様々な意見ができました

## 相談支援事業所を開所します

平成24年の改正障害者自立支援法（現 障害者総合支援法）によって「相談支援の強化」が示され、平成26年度末までに障害福祉サービスを利用する障害児（者）（障害児の入所は除く）に対して、サービス等利用計画書の作成が必要になりました。

当院では、医療機関としての役割に加えて、重症心身障害児（者）を対象にした長期入院（療養介護事業・医療型障害児入所支援）、医療型短期入所事業、通所支援事業など障害福祉サービス等も運営し、山梨県内における重症心身障害児（者）医療や福祉の向上に取り組んでいます。

このたびの法改正と関係機関からの相談支援事業所開所要請が相まって、平成26年5月中旬に「指定

特定相談支援事業所（18歳以上）」と「指定障害児相談支援事業所（18歳未満）」を開所できるように準備を進めております。

相談支援機能の強化によって、障害児（者）の抱える課題の解決

や適切なサービス利用に向けて、少しでも貢献できるように取り組んでいきたいと考えております。



（療育指導室長 山田 宗伸）

# 「平成 25 年度 第 4 回山梨県重症心身障害児（者） 関係機関連絡会」を実施して

療育指導室 主任児童指導員 石田 光

3月11日に、当院大会議室にて「平成 25 年度第 4 回山梨県重症心身障害児（者）関係機関連絡会」を開催しました。この連絡会は、県内の重症心身障害児（者）に関わる専門機関が研修及び情報交換を行い、よりよい支援を提供できるようにする事を目的に、年 4 回実施しています。今回は当院が当番施設となり企画運営を行い、県内の行政、施設、事業所等 18 機関から合計 59 名の参加がありました。

当院小児科の石井先生の講義の後には、パネルディスカッションを行いました。「重症心身障害児（者）が地域生活を送る上で、今、必要とされる支援とは」をテーマに、行政、医療機関、相談支援事業所等から発表を行い、当院からも通所と入所の各担当者が発表を行いました。各機関から共通の課題として、「関係機関との連携や情報共有」の必要性が挙げられ、「各担当者が顔見知りになり、スムーズな情報交換がはかれるよう更に連携を深めていく必要がある。」と確認されました。

また、今回は当院が企画運営ということもあり、国立病院機構本部の坂口医療企画専門職による、「国立病院機構における重症心身障害児（者）医療と療養介護サービス」について、情報提供がありました。その中では、今後の課題として「地域の重症心身障害児（者）医療を支える体制の充実」等が挙げられていました。当院も、今後、相談支援事業所の開所を予定しており、地域とのつながりや支援体制の充実が求められます。

今回の関係機関連絡会への参加を通じ、当院も重症心身障害児に関わる専門機関としての役割を認識し、地域の関係者からも信頼される機関として機能していかなければならないと感じました。



パネルディスカッション

## 医療安全管理室より

### 「重症心身障害者病棟の患者誤認予防」

重病棟では、入所している患者さんの多くは自ら名前を名乗る事が出来ません。

患者誤認予防対策としてのスタッフの患者確認行動は医療安全上重要となります。

7病棟ではベッドネームでの確認の他に、ベッドに顔写真を貼り、誰が見ても分かるような工夫がされています。

患者さんの名前と顔写真を指差し・声だし確認し、日々誤認予防に努めています。

(7病棟 西島直美)



## 地域医療連携室より

### 「春の健康フェスタ」

5月13日(火曜日) 9:00~11:30 外来2階 採血室前

毎年5月はナイチンゲール生誕を記念し、全国で「看護の日」と呼んで健康に関するイベントを行っています。甲府病院では、全ての職種のスタッフが協力して「健康フェスタ」として開催します。

外来2階にブースを設け、健康相談など地域の皆様のお役に立つ企画を検討中です。なにが出るかはお楽しみ。ぜひ、お立ち寄りください。

(写真は昨年の様子です)



◎地域医療連携室・お問合せ先

連携室直通 電話 055-240-6223  
FAX 055-240-6225



業務時間 平日 午前8:30~午後5:00

担当：中澤 ナカザワ カガフ ノダ  
香川 野田

# 外来医師担当表

平成 26 年 4 月 1 日現在

…女性医師等

			月	火	水	木	金	
一階診察室	消化器内科	診察室	廣 瀬	村 松	鈴木(雄)	村 松	稲 岡	
		診察室 10 (共用)					初診のみ 村 松	
	消化器外科	診察室 1	鈴木(哲)	浅 川			牧	
		診察室 2	浅 川		高橋(ひ)	(乳癌外来) 高橋(ひ)	鈴木(哲)	
		化学療法 (五階)	診察室 1		高橋(ひ)	鈴木(哲)		
			診察室 2			浅 川		
	内 科	診察室 3	渡 邊	渡 邊	渡 邊	渡 邊	渡 邊	
		診察室 4	黒 澤	黒 澤	黒 澤		黒 澤	
		診察室 5	川 口	古 屋	古 屋	中 尾	太田(-)	
	呼吸器内科	診察室 4	午前			樋 田		
		診察室 6	午後		細 萱			
	循環器内科	診察室 6	薬 袋	中村(淳)		薬 袋		
	神経内科	診察室 7			太田(恵)		太田(恵)	
	脳神経外科	診察室 8	長 沼	長 沼	長 沼	長 沼	大学医師	
皮膚科	診察室 9 (共用)		安 藤					
整形外科	診察室 10 (共用)				整形外科			
整形外科 (スポーツ・膝疾患治療センター)	1	萩 野		装具外来	萩 野	萩 野		
	2		渡 邊	渡 邊	渡 邊			
	3	落 合	落 合		落 合			
	4	千 賀		千 賀		千 賀		
	5	装具外来						
検 査 室	内視鏡	午前(上部)	村 松		村 松	北 橋		
		午後(下部)	村 松		大学医師 渡邊			
	超音波	午前	腹部 検査科	腹部 検査科	心臓 薬袋		腹部 検査科	
		午後			心臓 薬袋			
小 児 科	1	内 田	内 田	加 賀	久 富	久 富		
	専門外来 1 (午後・予約のみ)	久富・勝又 (循環器・フォローアップ)	久富・大学医師 (フォローアップ・乳児健診)	神 経 加賀	予 防 接 種	フォローアップ 中村(母) 代謝 内田		
	専門外来 2 (午後・予約のみ)	神 経 加賀	循環器 勝又			篠原 (フォローアップ・乳児健診)		
	専門外来 3 (午後・予約のみ)	神 経 神谷	神経 中村(幸)	神 経 石井	第 1・3 週 小野(摂食)			
産婦人科	1	滝 澤	雨 宮	菊 嶋	雨 宮	滝 澤		
	2 (予約のみ)	雨 宮	菊 嶋	大 学 医 師	滝 澤	菊 嶋		
	3	妊健 助産外来			妊健 助産外来			
眼 科	予約のみ 地 場	地 場	地 場		地 場			
泌尿器科 (予約のみ)	奇数週 大学医師							
耳鼻咽喉科				矢 崎				

●受付時間 初診/午前8時30分～午前11時00分 再診/午前8時20分～午前11時00分(再診で予約を取られている方は予約時間まで)  
(※水曜日午後呼吸器内科の受付時間は13:00～15:30です(診察13:00～16:00))

※右記のものについて事前の予約が必要となります。  
 ●小児科 専門外来 ●乳児健診 毎週 火・金曜日 ●毎月第4金曜日 糖尿病教室 黒澤医師  
 ●予防接種(小児科) 毎週木曜日 ●乳がん検診 毎週 水・木曜日  
 ●人間ドック 毎週 水・木曜日 ●脳ドック 毎週 月・火曜日午後

## 特殊外来ご案内

・「乳腺外来」については、毎週水・木曜日の午前中に高橋医師(女性)が診察します。検査についても女性技師が行っています。乳房にしこりなどの異常を感じたら、すぐに受診されることをお勧めします。

・「物忘れ外来」については、脳神経外科で行っています。ご家族が「忘れることが多い」と気づいたら、受診されることをお勧めします。

## 作品募集

「てんじん」に掲載する写真等の作品を募集しています。  
 ★宛先 国立病院機構甲府病院 経営企画係 山田  
 e-mail:yamada-m@nhokoufu.hosp.go.jp

## ◇平成 26 年度 職員採用案内◇

助産師・看護師・看護助手・薬剤師の募集(パート)は随時行っています。

申し込み方法 \*下記の電話番号に(土日休日以外)直接ご連絡下さい。

連絡先 国立病院機構甲府病院 庶務係長  
 TEL: 055-253-6131 FAX: 055-251-5579

### 編集後記

◆甲府に来て、今年で4回目の春を迎えます。桜もいよいよ満開を迎え、学校も職場も活気あふれる季節です(この号が出るころには葉桜となっていると思いますが)。さらに5月にはいと、通勤途中の「はなみずき」が満開になります。  
 新たな気持ちにさせてもらえ、1年頑張れる気分になります。

(編集委員 H)